



ちよふ

CONTENTS(主な内容)

東京外かく環状道路(関越~東名)の事業者である東日本高速道路(株)の代表取締役社長などが市長を訪問 2
 調布市障害者スポーツ体験会 4
 第40回深大寺そばまつり 10
 ゲゲゲ忌2021 16



発行：調布市（毎月5日・20日発行）所在地：〒182-8511 東京都調布市小島町 2-35-1
編集：行政経営部広報課

☎042-481-7111
市ホームページ：https://www.city.chofu.tokyo.jp/

市報ちよふの配布に関する問い合わせは
市報ちよふ配布コールセンター
☎050-5357-9679へ

11月は「児童虐待防止推進月間」・11月12日(金)~25日(木)は「女性に対する暴力をなくす運動」

児童虐待・DV（配偶者やパートナー、 交際相手からの暴力）・ 性暴力をなくそう

児童虐待やDV・性暴力が依然としてなくなりません。児童虐待とDVは密接に関係しています。子どもの前でDVは「面前DV」と呼ばれ、子どもへの心理的虐待となり、子どもの発達や成長に悪影響を及ぼします。

児童虐待・DV・性暴力をなくすために、何ができるか考えてみませんか。



家の外に
閉め出す

「別れるなら
死ぬ」と脅す



子どもの前で
夫婦喧嘩をする

異性の友人の
連絡先を
消すよう
強要する



自宅などに
子どもを一人で
置いたままにする



大声で
どなる

家の中が
ゴミだらけ



食事を十分に
与えない

少しでも
思い当たることがあれば
相談・連絡してください。

こんな様子、見かけませんか？

問 児童虐待について／子ども家庭支援センターすこやか☎481-7733(子ども政策課)
DV・性暴力について／男女共同参画推進センター☎443-1213



児童虐待・DV・性暴力などの相談窓口は8・9面をご覧ください➡

手をつなぐ樹 394

コロナ効果の行方

「企業戦士」や「モーレツ社員」などという1960年代から70年代の高度経済成長期を象徴するかのような言葉はもう死語に近くなったのだろうか。ひよっとすると、私が就職した70年代半ばにおいてもすでに、社会の風向きは人生におけるゆとりを求める方向に多少変容しつつあったのかもしれないが、しかし、新人研修の際に講師を務めたさる著名な経済評論家に、今で言うワークライフバランスについて恐る恐る問うたところ、言下に「20代の頃はそんなことを考える必要はない。ひたすら仕事にだけ取り組め」と一喝され、強い違和感を持ったことは、未だに鮮明に覚えている。

ただ、その回答に反発したもの、その後仕事以外の時間を極めて有意義に過ごしたとか、かりそめにも言い難く、30年近いサラリーマン生活の間、有給休暇を取得した記憶もほとんどない有様だ。お粗末なことには、現代の社会人がときに仕事を休んで、趣味や社会貢献に時間を費やす度合いが増えているとすれば、それは誠に好ましい傾向だと思ふのだが、今後は果たしてどのようになら推移していくのだろうか。

加えて、一気に拡大したテレワーク等の働き方改革がコロナ収束後も組織に定着すると仮定すれば、それはこれからの我々の生活様式に、また日本社会の構造にいかなる変革をもたらすのだろうか。新規感染者数の急減に戸惑い、さらなる感染者の増大に変わらぬ警戒感を抱きながら漠然と思いを巡らせている。

調布市
友友貴樹